

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H302	欧米経済論 / ヨーロッパ経済論 I	3年	講義	2	田部井信芳
授業概要 アメリカおよびヨーロッパ経済の現状と今後について説明する。世界最大の経済規模を有するアメリカ経済が世界経済において果たす役割、さらにEU経済圏の成立から今後の動向等を検討することにより、欧米経済の現状と課題及び世界経済の今後について考える。					
到達目標(学習の成果) ・アメリカ経済の現状及び世界経済におけるアメリカの役割について理解することができる。(DP3「問題解決力」) ・EU各国経済の現状及びEU経済の課題について理解することができる。(DP3「問題解決力」)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	アメリカの基礎	アメリカの政治、社会および地理について			
2	アメリカのGDP	アメリカの近年の経済動向について説明する			
3	金融	中央銀行とアメリカの金融について			
4	財政・社会保障	財政および社会保障の現状と課題について			
5	アメリカの産業(1)	アメリカの製造業について説明する			
6	アメリカの産業(2)	アメリカのサービス産業について説明する			
7	通商政策	貿易、経済統合および通商政策について			
8	アメリカの資本主義	アメリカ資本主義の特徴と企業経営について			
9	EUの成立	EUの成立および現状について説明する			
10	ドイツ経済	EU最大の経済規模を有するドイツ経済について			
11	フランス経済	フランス経済の現状と課題について			
12	北欧諸国の経済	北欧の福祉国家について説明する			
13	南・東欧諸国の経済	南欧および東欧諸国経済の現状と課題について			
14	イギリス経済	EU離脱後のイギリス経済について考える			
15	EU経済の今後の動向	イギリス離脱後のEU経済について考える			

準備学修(授業外の自己学修)

- ・講義の中で指示する経済用語について調べてくること。
- ・新聞やニュースにより、日頃から世界経済について問題意識を持つこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

出席・授業態度(30%)

学期末試験(70%)

観点	S	A	B	C
アメリカ経済の現状に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
世界経済におけるアメリカの役割	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
EU経済の現状と課題に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

特に使用しない

参考書等

「図解 アメリカ経済がわかる本」平田潤 東洋経済新報社 2012年

履修上の注意・学修支援

質問等がある場合、オフィス・アワーを利用すること。